

地域の方々の協力があって、 日々の安全が守られていますー。

交通量の多い国道2号が地域を横断している大野地域と、交通量の少ない宮島では、事情も違うので地域の特性に合わせた活動が重要です。

宮島地域では自転車や車がシカと衝突するケースもあります。野生の動物は突発的に動くので、夜間だけでなく、昼間の運転にも注意が必要です。

大野地域では、区単位での交通安全教室が盛んで、4区では子どもの自転車教室と高齢者用のシニアカーの講習を一緒にを行い、多くの参加がありました。地域の特性や事情に応じた教室などの取り組みに力を入れています。

幸いにも大野・宮島地域で子どもの交通事故がほとんどないのは、地域の

皆さんによる見守りによるところが大きいと感じています。地域の方々の目があることによって、交通安全・防犯といったことだけでなく、子どもの健全な育成にも大きく関与していると思っています。今後も関係機関や地域の方々と協力しながら地域の交通安全に寄与していきたいと考えています。

また、高齢者の安心・安全な生活を守ることも私たちの大事な使命です。あの手この手で年々進化する特殊詐欺。これといった特効薬がなく、地道な啓発活動を続けていくしか方法がありません。少しでも不審に思ったら、お金を振り込む前に必ず誰かに相談してください。



くらし安全指導員

うちぼり・ひろみ

内堀 浩己さん

昭和48年広島県警察に採用。40年間の警察署などの勤務で主に機動警ら・交通警察の業務に携わる。平成25年4月から、くらし安全指導員として、大野支所地域づくりグループで活動。大野・宮島地域を担当。(61歳)。



写真は、7月19日に行われた大野4区での交通安全教室「ジュニア&シニアバースクール」の様子。子どもの自転車乗り方教室に加え、高齢者用のシニアカーの使用法の説明も行った。子どもからお年寄りまで参加できることで、多くの参加があった。

地域を見守る くらし安全指導員

問合せ 地域政策課 ☎9139

交通安全教育の推進や交通安全対策の企画・立案など、関係する諸機関と連携し、保育園、学校、地域などでの各種啓発活動や地域のパトロールを行っている。地域でのきめ細かい活動に対応するため、平成25年度より3人に増員。



くらし安全指導員

さわえ・こういち

澤江 浩一さん

昭和45年広島県警察に採用。主に交通課・交番勤務に携わり、吉和駐在所に6年勤務。吉和市民センター長を務め、平成25年4月から、くらし安全指導員として吉和支所地域づくりグループで佐伯・吉和地域を担当。(63歳)。

車が必要不可欠な中山間地域ですが、 「あれっ」と思ったら、運転を控えましょうー

吉和駐在所時代から、吉和地域の交通安全に携わってきました。吉和地域の特徴として、切り離せないのが冬の雪です。除雪していない道を朝の通学時に通るときには、転倒しないように、また1列になって歩くように気を付けることが大事です。

佐伯・吉和地域では、行動範囲が広いので、買い物や通院など生活する上で自動車は必需品です。しかし、高齢化が進む中、その運転には特に気を付けたいところです。

高齢者の運転で特に気を付けていただきたいのが、まずは健康管理。次に、車両の安全点検。そして、加齢に伴う記憶力の低下です。車の運転をしよう

としたとき、目的地が思い出せなくなったりしたときは運転を中止してください。

高齢者が加害者となる交通事故が後を絶ちません。よく自宅の車庫で車をぶつけてしまうなどの「あれっ」と思うことが多くなったら、家族と相談して運転を控えることも考えましょう。

また、佐伯・吉和の中山間地域では、高齢者が安心して暮らせる地域づくりが私たちの役割の中の大きな部分を占めています。診療所やデイサービスなどと連携した高齢者の見守り活動などを通じて、地域のつながりを大事にし、顔の見える地域づくりに努めていきたいと考えています。